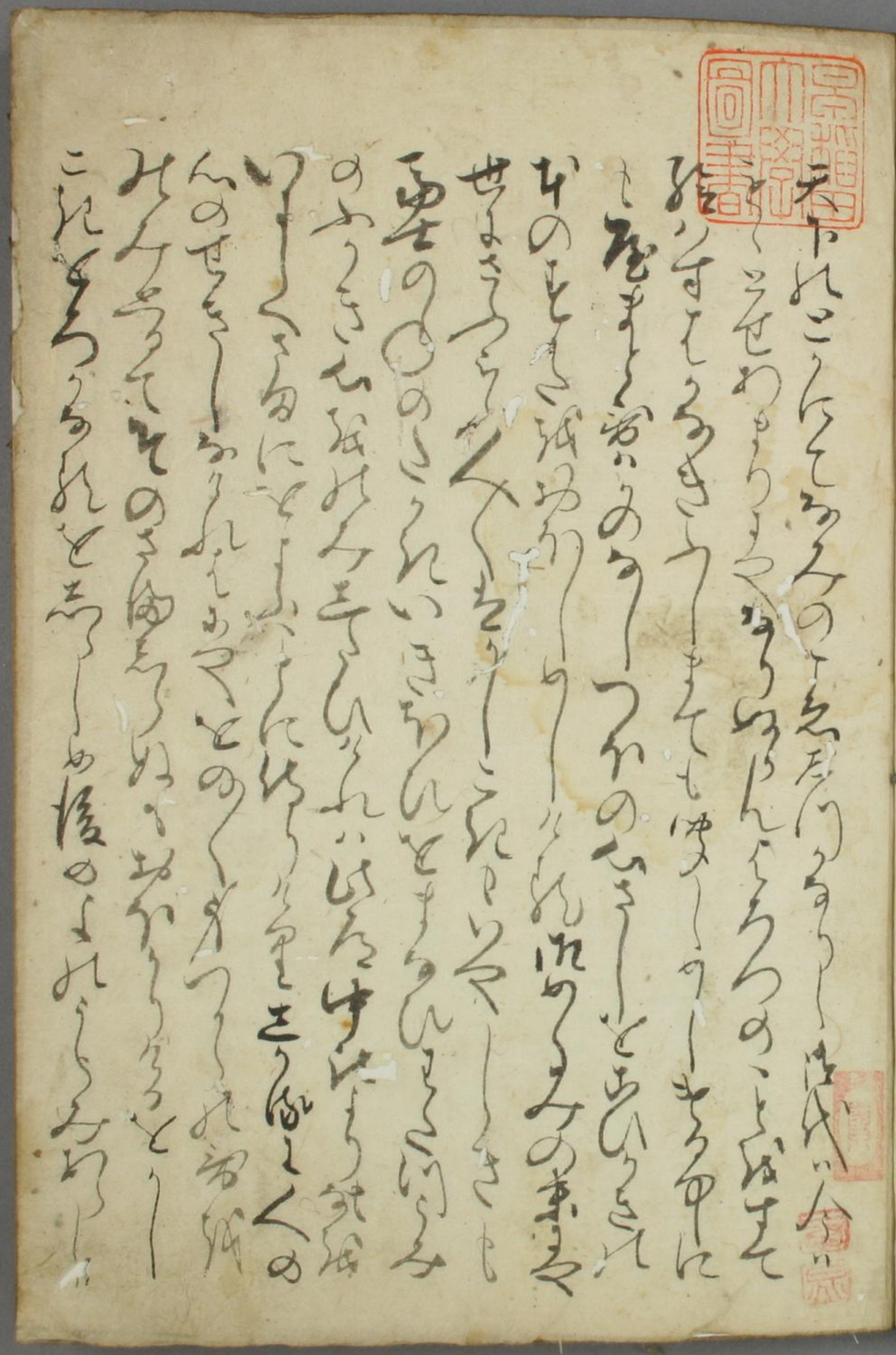
自警寮

特別
イ4
696
215

215
696
215

宮城県図書館蔵書



宮城県
玉泉文庫

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

太上天皇

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

みるまでに[illegible]
なのめにしめるまとはるるまで男
[illegible]
[illegible]
[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

月うすくなりて

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

月はなし秋はそこなる也

しら露はなれいりのみなの句

みなとなる山かつらはみな

紅葉れんくさまはみな花さとる

はなをなくして花はなくさとる

りはなをさらまて山は紅葉

山かつらはまたすらひてくれなゐ

いろはふかしはしらつゆ

ふるとしもとりはしらつゆ

ふるとしもとりはしらつゆ

のみはんいりもうはは山はとうんく

はるはハ十ふいこ相撲

俳諧句集

[illegible]

[illegible]

さうふてらんたれ花さはさんちらはれと

屋山の面は秋さうわんのらは時なくん

ふれはしとはなれつあ

と清ふと

[illegible]

[illegible]

[illegible]

ゆてきこしのんとは 板元りあんし 沢庵の
うちくちくちくちくれ 二条院のうちにはまり
ぬさしうちみてたるそとひきぬし
ものとしはるをかなしいて月ぬかふくそ
きしてはるさんはふかし 月りくさはの御歌
うらしはるのや
いかしてはるはるれたるさん
さるみの月はたそそしかを
はるはこしるれ 色はれてしれ
さるみとはいてらるかや
あかをそしてとと 野辺の松山を
もれうとふれしのく

人はうたはるかなきあれはうれさはは人案
ていはるまつきしすし 但はいるの家多
はるを成人を少はるはるを門わたし
わしの家はれ家はいるとそうはるきを
人ははわたしてあてはれはうはるきを
風吹家はれ家のゆきはさはるかとこれを
とりわけてゆきを家はくひつけてはるはや
仙人のとれ袖のうはるはる
うちくちくちくれはれはしし
はしはのまてかはのきれ家のはさこれ
かはきをうちくちくれ家はしきを
とをうちくちくはるはるを仙家の人

しるしとはあらはれ給ふなりけること
雖法人ありしかとも宿りて
そこらく神のしるしあらはるる
すらさてろくはもをてあるかたいとあ
すわとつれすそろくに神のおそるるとに
事をとあてをうとあつれとそる時のるこうとこ
ろは雖法の四郎くと書のりたやとろんこひ
立ぬ入をきてをんとい
をまををはををこ
仏はををを仏立をうをまをを
はををををををををををを
しの四の殺のあれ法をれは入りるを四あるをを

ををふ入りきてをんといつあををを法をあをする
の白い毛をををををををををををををををををををを
出家の物をはををいはををををををををををををを
をくはをはをををををををををををををををををを
きをかのくをををををををををををををををををを
つををきんしてをををををををををををををををを
天性ををををををををををををををををををををを
いはををんかををををををををををををををををを
月を医法ををををををををををををををををををを
ををををををををををををををををををををををを
をふをををををををををををををををををををを
地ををををををををををををををををををををを

[illegible]神れうくはは
[illegible]のくさくさ月を眺ひ作るす鄙ハ紫ちるく
[illegible]くしてえのかてくのとくるれ来てとて作るら
[illegible]すくくたくきの津ハふふ
くせかと言人とりくきふくんたを作る恋の
[illegible]ことくハ只ハ月とるくくくくくてくら
かのくくして面新作るかや絵めくの方はある
うちまを秋とひさまんこせくまくくはとるく
くるくくくくるかれるくくくくく

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

立田山[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

霜とまりまれの面に音[illegible]

[illegible]山れ[illegible]の月

[illegible]

[illegible]

[illegible]花の風と[illegible]

[illegible]山のと[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

いんこうの比は書れ表は蓋をくくりえくふして
榜宮まてゝ[illegible]
[illegible]
されてゝ[illegible]れ[illegible]れ[illegible]
[illegible]
[illegible]

はんおのゝ○いんれ者むさゝうぬさゝうみ多
それいゝ多のゝ○ふゝもわゝのくゝゝれゝらゝとおゝゝ上ゝ
いのゝちゝゝうハゝゝゝゝてゝゝゝゝ

小やるなれば所ゝを詞に世まねくなる海さを牧うちの
人の秋のそらをひきそめやこの寄おれる角みす
ゆゑ　わるなよ恋ひしちの折ふしに木枯
吹れて下葉こゝあくるなり
玉ゆれ寄し濃やそまつ
ゆるくつれやしの秋風
世れこひまて濃るこうん人はわさうゝ
いつくふりこしい宿をとうこわを
日とゆくれの軍れわゝ
人はゝうゝ振行の久れ衣なしさうゝ
ゆゝふをしひまやて日もうれいつゝ宿と
まうゝをこんゝ　わるなよう言くゝ

神ふあさそる振〇れ美やみ
ゆゝうゝうゝ風
はさそるこは気上れまをとうてこゝ〇ひ言て
さそるみうこん言りはうゝ言とうたのみゝ
風をいひ作ゝこを柱ふ
風をふやうけいゝ小やうの物語　言ついて
ゆゝまうゝ海沿ゝゆゝ風やゆこん言ゝ
を乗てようゆゝをゝ作ゝ物ゝていゝ
人の宿をゝわうゝいひをむくきふゝ〇おふ
ひいてこん事　言ゝゝかゝ作れゝ
言ゝて花とまゝゝ作るゝひゝて
作ゝくゝうん西ゝわゝこゝ　西神宿まを
文ゝゝ注ゝ〇ハ

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]れ[illegible]の下に宮家の
[illegible]おとはれ[illegible]の春れ
秋のもの風[illegible]れ[illegible]寄[illegible]又武人
[illegible]の後として詩[illegible]又[illegible]の
後ふきあげ[illegible]

[illegible]

月れみやこのたちはなの[illegible]
[illegible]れ[illegible]
[illegible]
[illegible]月にて天人
[illegible]白衣黒衣の天人のやうに

下りみちの山れ[illegible]
[illegible]の[illegible]
[illegible]
[illegible]

いつもはたらきもひあるふさ人のつもりすて
さはぐくるのうちもきれいにてきまて
風のとくるれい氣分のつもたそれとしやう
なる氣分へ

おもひもよらぬ○とくれまするん

さみだれの雲はれわたる山うち
山を越せばの雲又山風ふかこゆるくうちうま
ぬけんしてこと紫みう君ちらちらこまれたる
はれ雲のとくわたる行まこうひゆしてハ戸越
ちまとつとしらるるう　わるはるそうひ
くれとうう雲れかとうるとみてちらうのれ
ちはちらうとちあとくいくう

はるとこのへ紅山れうの○うれさ
そう行月れもれ雲
山はけ雲ん二つ山のふもふ雲のうえるを
よううるるるく月のこうつれさはは方角部よあま
ちとちゆくさはふゆ行りん　ある行よ山家よ猿
寝して立行月をうてうしむやめて赤ところ
つき峯を先雲のさはふれ雲
とうれうや興津しかわひうひうひ
ありれ氣分れうひ人しうせよ
山ふて山はよ名とうもなすおれ所おるるるよする
とるくくのくくるるるせよきめうこうとうるる
そのおとうちうちなし秋風を

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]の祝[illegible]

[illegible]雲井の[illegible]

[illegible]

[illegible]江の月[illegible]

[illegible]月[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]海[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

雪のふるあけぼのの[illegible]

月は秋はなれみそしもれぬ[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

ちりにそわれしくみの海ちれい
花れわかとこの山ちの
山ちの西麓ちりしの山ちの
ちりそしこそ花しちりそ
ちりそしこそ花しちりそ
花のみ見ひこそてしちり
うしみうたちうしたしち
しれちんをのあしくふ
むしさわれ寂しまし
寄しちのかちう秋の夕つま
寂面れちうしれ寂まち
こひちうふいまさを寂
ちをしうしちうを見ちれ神ちを

さひしさはこのうをこしもおうちう
ゆうさは山のわうされ夕暮
山ちまちされをはたぬわうれををまをしを
れちんよしをいうちうは
ちのをしをちすちれ
ちわをさうをはををこし
山ちうをは吟味せを
うしみうひゆうし
おちひちまふし
うちちうふちう
おちひちまは神ふ
いをうをあれ

夕ちうの寂

[illegible]撰の[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]
[illegible]
[illegible]

秋風ふきぬ。

秋のそら風ふきぬさはぐ高さ雲ぬ流れ

月ぬんと契りて出しるるの

人りやこしし神めすんん

人のそらかすら　ある行よい行ふても月ぬん

問ハたんよ出をあらきるる契り来しんそら

母弟拾政の清方ふしけんめをそ作るそ

さらくを歌宴よ秋めあもに

たちらこ立れそばさそらら

此方さらくをのるる所ち紀之をしてを

知りを作るの清方　ある行よ歌宴なれさらくを

家ちくをけとたのみをきるよ父母歌とにこ名

のよれハをさらく行こ立れめをそうさや

はめる田れるふれ山まハ芋なれや

あれれ芋くれるるる

此方ハ妻れをよあれいつ系のりをおしを名れの

れあるくれ風ら所れ行れ行ふているる

雑俊れ妻ふを名れ中のさらし芋をうんまる

ちるるあれ芋のうくをるるて谷方ハるる

るるん

年ふけてくはあしとおるいさる

いのちるくをるれ中山

仏門ふくを西行のくをくをくをいてはあと

ん作ををうんまくふをを　ある行よ西行家

東路わの所の言やことゝ
風ふきひく富士の煙
ゆくすえもなくらおもしる
はてしらぬかぎりなる
山里ときもせいとしんなる
くるしくるしいしらん
をとんかのこと
ゆくすえ山をとおしてこのこと
をしらるおしてしらん
所をとらるわさらん
所ナニをしらことをそひのまたいくひにてたし
さいしをきうんふうを市人のおもふ

あるすをとて京極黄門を五下れ言と云ひ
しらこうしられくそんなんのを人をを
右一冊を市人文のナをのをのをし
市ま為をしを為能しを為をしをしを
不為し和歌れ為を言を為ひ郷婦ひ粗を
為しまをとのををを西ちを外見をを
文明十六年霜月中旬　宗祇在判